



佐世保市立黒島小中学校

住 所：佐世保市黒島町2608番地10

校 長：惣田 正宏

児童生徒数：16名

学級数：5学級

(令和元年5月1日現在)

HP: <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-kuroshima/>

1 目 的

学校教育目標「9年間を通して育てる ふるさとを愛し、未来を切り開く黒島っ子の育成」に基づいた本校のめざす児童生徒像「**優しく感性豊かな子ども 進んで意欲的に学ぶ子ども 最後までやり抜く子ども**」の具現化のため、特色ある学校づくりを推進します。

学校教育目標

9年間を通して育てる ふるさとを愛し、未来を切り開く黒島っ子の育成

こんな子どもに

優しく感性豊かな子ども

- ・豊かな環境や体験活動の中で、感性を磨き、自分を大切にし、相手を思いやることのできる子どもの育成

進んで意欲的に学ぶ子ども

- ・学ぶことに喜びを感じ、意欲的に学習に取り組む子どもの育成

最後までやり抜く子ども

- ・身体を鍛え、粘り強くやり抜くタフな子どもの育成

特色ある学校づくり

平成31年度 特色ある学校づくりのキーワード

①思いやりの心

②食の大切さを実感

③夢・憧れ・志

①確かな学力

②郷土に誇りをもつ

①心身ともにたくましく

※その他：①義務教育学校の教育活動の周知

特色ある教育活動を具現化する際、めざす3つの児童生徒像に基づき、児童生徒や学校の実態、地域性などに加え、小中一貫教育である義務教育学校としての在り方を考えました。郷土黒島に誇りを持ち、たくましく生きる黒島っ子の育成をめざしています。

2 実践内容

(1) 優しく感性豊かな子ども

① 思いやりの心を持った児童生徒を育む



<相西小学校での活動>



<相浦中学校での様子>

【大規模校訪問】

1～6年生は相浦西小学校を、7～9年生は相浦中学校を訪問しました。各学級では大人数の友達と一緒に授業を受け、多くの意見や考えに触れる、普段はできない素晴らしい経験になりました。

授業、給食、休み時間など普段自分たちが過ごしている黒島小中学校とは異なる大人数の学校生活を目の当たりにすることで、驚きと共に多くの人との関わり方について考える大変よい機会になりました。

今後も交流を続けたいと考えています。

【植物の栽培活動】

新校舎には栽培園が少ないため、1～6年生はパンジーをプランターで育て、7～9年生はハイビスカスを育てる活動を行いました。育てた植物で来校者に喜んでいただけるようにし、生命の大切さを学ばせると共に、責任を持つてお世話をする大切さを学ばせることができました。



<栽培活動の様子>

② 「食」の大切さを実感する子どもを育む

【かんころ作り・餅つき】

学校農園にサツマイモの苗を植えて自分たちで育て、収穫しました。そのあと収穫したサツマイモを使ってかんころ作りを行いました。芋苗植えとかんころ作りの際には、地域の方にゲストティーチャーとして来校いただき、指導していただきました。

かんころができた後は、保護者・地域の方とともにかんころ餅作りを体験しました。餅つきの際には地域のこども園の子ども達にも参加してもらいました。

一連の学びの中で、地域の食への関心を高めたり、地域や保護者の方への感謝の気持ちをもったりすることができました。



<かんころ作り>



<餅つき>

③夢・憧れ・志について考える児童生徒を育む



<職場体験学習の様子>

【職場体験学習】

職業に対する正しい理解と望ましい勤労観を育むことを目的として、生徒それぞれが、自分の将来を見据え、興味のある職業について調べ学習を行いました。その後、島内・市内の各事業所へ体験学習の受入依頼を行い、7年生は2日間、8年生は3日間の体験学習を実施し、学習発表会で、その成果を全員が発表しました。

【落語会】

佐世保市出身の落語家である三遊亭らっ好さんをお招きして、落語会を開催しました。黒島では体験ができない日本の伝統芸能である落語を、間近で体験すると共に、らっ好さんの生き方を学ぶことができました。また、地域の方にも参加していただき、大変喜んでいただきました。

(2) 進んで意欲的に学ぶ子ども

①確かな学力を身に付けた児童生徒を育む



<研究授業の様子>

【学力充実】

全国・県・市など各種学力調査結果を全教職員で分析し、課題となる問題について対策等を取りまとめました。

早期に結果分析を行うようにしました。1～6年生は、年度末には、別の学力調査を行うことによって定着について確認し、課題となる領域・単元については当該学年中に振り返りを行って進級させるようにしました。

また、1～6年生はスキルタイムとして位置付けている「学習タイム」で、7～9年生はA T（アチーブメントタイム）で個の課題に応じた指導充実を図りました。

全ての担任・副担任が研究授業を行い、全教職員による授業研究会を通して、学力向上のための授業の充実を図っています。

【読書活動の充実】

学力向上へ取り組む中で、語彙力を高めることや多様な表現に親しむことの必要性を感じ、読書の質の向上に力を入れました。読書集会は、児童が、互いに自分の読んだ本の紹介をし合う会です。確かな読みに加え、相手に伝える表現の力も求められます。異学年グループで行う交流会は価値ある取組になりました。

また、国語学習とリンクした読書を行うことで、学習効果を高めるよう努めています。



<読書集会の様子>

②郷土に誇りをもつ児童生徒を育む



<子どもたちが作成したリーフレット>

〔ふるさと学習〕

黒島について調べ、情報発信する学習を行いました。前期課程は、学習した成果をリーフレットにして黒島ウェルカムハウス等に置いていただき、来島の方に見ていただくようにしました。後期課程では、黒島の魅力を再発見するためにフォトコンテストを実施したり、観光協会の方を講師に招いて黒島検定に挑戦したりしました。最後は学習の成果として、黒島のCMを作成しました。これらの学習を通して、郷土に対する理解や愛着が深まりました。

〔漁業体験〕

3～6年生が、漁業体験を行いました。保護者の方が漁師であったり、日頃から釣りをしたりしている児童もいるのですが、ここでは実際に漁業について調べ、漁師さんの仕事について改めてお話を伺うと共に漁船で沖に出て漁をする体験活動を行いました。

最後に港で海を守る活動についてお話を伺ったあと、稚魚を放流する活動を行いました。黒島に生活するものとして、主体的に関わりながら、海と共に生きていくことの大切さを学ぶことができました。



<漁業体験の様子>

(3) 最後までやり抜く子ども

①心身ともにたくましい児童生徒を育む



<シーカヤック活動の様子>

〔シーカヤック体験学習〕

ゲストティーチャーを招聘して様々なシーカヤックのスキル、転覆したときのレスキュー法等を教えてくださいました。

また、カヤックに乗って黒島近海を航行する体験を行い、海から黒島を眺めながら、自然の素晴らしさや学び合うよさを学ぶことができました。

〔運動会における表現活動〕

黒島での大きなイベントである、黒島小中学校運動会において、本校では例年ヒップホップダンスを全校児童生徒で披露しています。

そこで、ダンス指導の講師を外部指導者として招き、今年度も児童生徒に指導していただきました。本番では、素晴らしい演技を披露し、地域住民から大きな拍手をいただきました。



＜運動会表現の様子＞

（４）義務教育学校の教育活動の周知

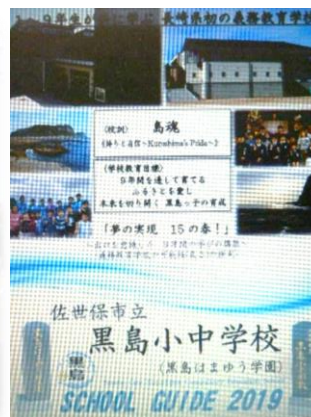
④地域住民に義務教育学校の教育活動を周知する

〔スクールガイド等〕

黒島小・中学校が義務教育学校になったということ及び学校の行事等について、町民や来島者に周知するため、学校カレンダー・スクールガイド・幟を作成し、地域の方への周知を図ることができました。



＜義務教育学校周知の幟＞



＜義務教育学校周知のリーフレット＞

